

平成 22 年 9 月 10 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2
株式会社 QLife (キューライフ)

～がん患者の 3 人に 1 人は誰にも相談せず一人で悩む～

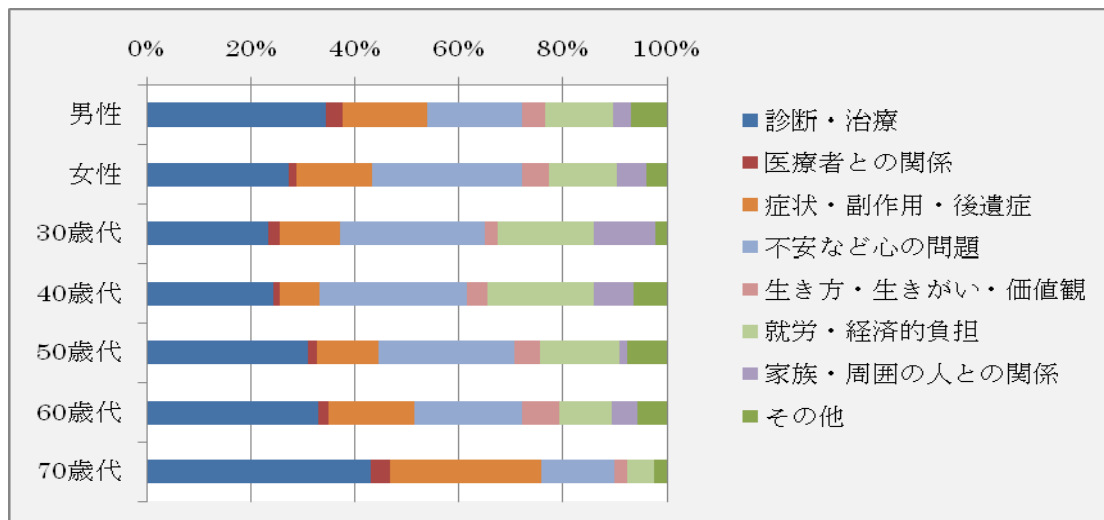
「がん患者の悩み」実態調査の第一弾を発表：治療段階、部位、治療方法別などで比較

日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社QLife (キューライフ/本社：東京都世田谷区、代表取締役：山内善行)は、『がんの悩み「患者本人/患者家族/近親経験者/未経験者」比較調査』の結果の第一弾【“実施概要”および“患者本人編”】を発表した。インターネット上でアンケートを行い、全国の患者さんや家族など 8,218人から有効回答を得た。

それによると、全般的に女性の方が、そして若い方が、悩みの内容は多岐に渡ることがわかった。告知直後の方があれこれと多くの分野について悩み、治療終了に向かうにつれて悩みが絞られる傾向にある。悩みの内容を分類して集計すると、「診療分野」：「非診療分野」の比率が告知直後は半々だが、時間の経過とともに「非診療分野」の比率が高くなる。そして「最大の悩み」は性・年齢によって大きく異なり、男性は病気に直接的なもの、女性は副次的なものが多い。

悩みを人に相談した場合でも、「相談した甲斐があった」のは6割にとどまる。しかもその比率は、時間が経過すると下落する。そのためであろうか、3人に1人は誰にも相談せず一人で悩み、時間経過するとさらに他人には相談しなくなるという結果だった。

がんと診断された直後の、最大の悩み



※10-20歳代と80-90歳代はサンプル数が少ないためグラフからは除外

調査結果の概要

1. 全般的に女性の方が、そして若い方が、悩みの内容は多岐。また、告知直後の方があれこれと多くの分野について悩み、治療終了に向かうにつれて絞られる。
2. 悩みの内容は、「診療分野」:「非診療分野」が約半分ずつだが、時間が経過すると「非診療分野」が占める割合が高まる。
3. 「最大の悩み」は性・年齢によって大きく異なる。男性は病気に直接的なもの、女性は副次的な内容が多い。「医療者との関係」が最大の悩みの人も1割いる。
4. 「内視鏡等手術≦外科手術<薬物療法<放射線」の順で、「診療に関わる悩み」を抱える人が少ない。
5. 悩みを人に相談した場合に、「相談した甲斐があった」とするのは6割。ただしその比率は、時間が経過すると下落する。
6. 3人に1人は誰にも相談せずに1人で悩み、時間経過すると、誰にも相談しない割合がさらに増える。

詳細は・・・

▼以下の記事をご参照いただくか、

http://www.qlife.jp/square/cancer/cancer_01/story14941.html

▼以下の詳細レポートをダウンロードしてください。

http://www.qlife.co.jp/news/100910qlife_research.pdf

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 :株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 :〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 :代表取締役 山内善行

設立日 :2006年(平成18年)11月17日

事業内容:健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念:生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念:感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>



本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp
